

# 低温一定温度における恒湿度試験

既存恒温恒湿機で対応できない低温で恒湿試験が可能です。

## 恒湿度試験

### 1. 概要

JIS B 7920の各種塩の飽和水溶液と平衡にある空気の相対湿度を参考に、塩の種類を変えて低温(-10℃～10℃)にて湿度コントロール可能です。

### 2. 実施方法

バットにシャーベット状(飽和溶解)にしたNaCl、MgCl<sub>2</sub>、およびCaCl<sub>2</sub>を密閉容器に入れ湿度箱を作成し(図1)、恒温槽内へ設置します。

### 3. 実施結果

湿度箱内温度は庫内温度の±1℃で管理可能で、湿度は飽和塩により離散的ではあるがコントロール可能です(表1)。

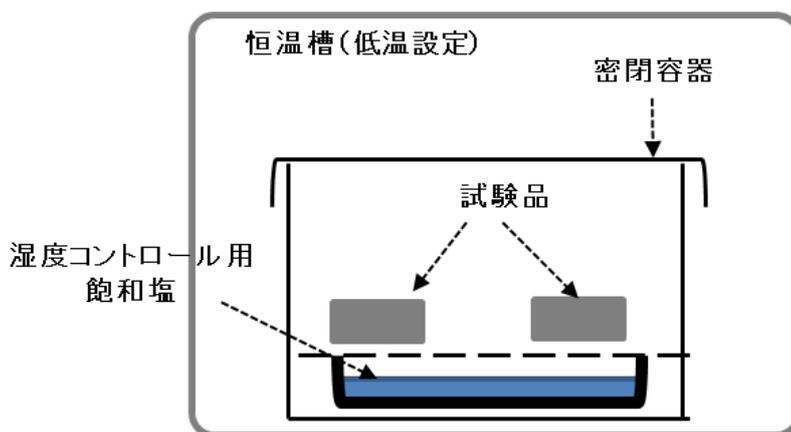


図1 恒湿度試験装置例

表1 飽和塩と平衡湿度

飽和塩	飽和溶解量 (g/100cc)	平衡湿度 (%RH)
KCl	28.1	88.6
NaCl	35.7	75.5
MgCl <sub>2</sub>	34.6	33.7
LiCl	69.2	11.2

※ 温度・湿度のご要望は、お気軽にお問い合わせください。また湿度を試験中計測する事も可能ですので、ご要望あればお伝えください。